



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

人吉災害実動訓練 ～大規模震災に備えて～



8月31日（日）人吉市で大規模地震を想定した総合防災訓練が実施され、本院も訓練に参加しました。同日午前8時5分到人吉市の断層を震源とする震度6弱の地震が発生し、各地で家屋倒壊、火災、交通事故等が起きて大勢の被災者が出たという想定で訓練が行われました。

院内では職員約230名と地域協力会員をはじめとするボランティア70名が参加する災害実動訓練を行い、地域連携を1つのテーマとして、市役所、消防署、保健所などの行政や医師会・近隣医療機関との連携、そして地域協力会、人吉准看護学院生、消防団、人吉アマチュア無線クラブの方々の協力のもと行われました。訓練では、本院に多数の負傷者が運ばれ、正面玄関に設置したトリアージエリアで医師、看護師を中心にトリアージを展開し、院内で重症群（赤）、中等症群（黄）、軽症群（緑）の各エリアでの検査及び治療など実施し、

病棟への傷病者搬送訓練、通信訓練等を実施しました。

昨年、竣工しました新棟にはヘリポートも整備され、災害拠点病院としての機能を拡充し、衛星携帯や防災無線、高性能のアマチュア無線などインフラ整備も行っております。

今後もそれらの使用方法ならびにトリアージSTART法などの技術の向上、必要な資機材の準備、その他、今回の訓練で出た課題を活かして、さらなる災害医療体制の向上に取り組んでいきたいと考えます。

実際に災害が起きた場合、被災者は混乱し不安の中、病院に来られると思います。その際、医療従事者である私たちが冷静になり迅速に対応し、安心感を与えていかなければいけません。今後も有事の際に迅速に対応ができるように、職員一同努めて参りたいと思います。

7階病棟 看護師 白石 美月

DMAT 防災訓練・広域医療搬送訓練

8月30日に平成26年度総合防災訓練・広域医療搬送訓練が開催されました。

南海トラフ地震を想定して、大分県、宮崎県及び鹿児島県を被災地とし、自衛隊機などで被害の少ない県に患者を搬送する広域医療搬送を行う訓練です。

当院から医師1名、看護師3名、業務調整員1名のDMATが参加し、7時から18時まで熊本空港（崇城大学空港キャンパス）と山江SAにて各病院のDMATチームとともに、活動してきました。

熊本空港SCUは今回崇城大学空港キャンパスの格納庫を使用し、SCUを立ち上げます。

SCU（staging care unit）とは、被災地内の傷病者を被災地外へ航空搬送する際の臨時医療施設で、容態の深刻化しやすい重症患者を航空機搬送する前に最終メディカルチェックを行うための施設です。

SCUでは県内の病院からたくさんのDMATチームが参集し、各病院から持ち込んだ医療資機材を展開します。各県から自衛隊機で広域医療搬送されてきた重症患者は、到着するとSCUへ運ばれてきます。運ばれてきた患者は限りある人員、資機材の中で治療を行い、優先順位の高い順に受け入れ可能な病院へと搬送します。

山江SAでは、参集拠点本部を設置しEMISを使ってDMATチームの情報共有や本部と衛星携帯電話や無線

機を使って、情報のやり取りを行いました。EMISとは、広域災害救急医療情報システム（Emergency Medical Information System の略）で、各病院の被災状況確認、支援状況、DMATのチームの状況、活動状況などが見られ共有することが出来るシステムです。参集してきた各県のDMATチームの取りまとめ、支援要請があった病院へ送り込み医療活動をしてもらう派遣の手配、医療資機材や薬剤の調達、備蓄の確保を行い、必要に応じて派遣するDMATチームに持って行ってもらう手配も行います。さまざまな通信手段での情報収集がここでは非常に重要だと痛感しました。

今後、30年以内にマグニチュード8～9クラスの大地震が60～70%の確率で起こると言われています。

DMATチームは年間に数回このような災害を想定した訓練に参加し、いつ起きるかわからない災害に対して常に緊張感を持ち、いつでも出動できるよう災害に備え待機をしています。

訓練で学んできたことを実践に活かせるよう、頑張っていきたいと思います。

災害時はDMATチームだけでは何も出来ません。皆さんの後方支援があるからこそできる事がたくさんあります。今後ともよろしくお願いいたします。

人吉医療センター DMAT業務調整員 山田 孝幸

救急フェア2014開催

9月9日の救急の日になみ、9月7日人吉下球磨消防本部で「救急フェア2014」が開催され、約1,500人が来場されました。

管理者の田中人吉市長、外山医師会会長、富田消防長挨拶のあと、人吉医療センター脳神経外科部長山本先生の「どんな時に救急外来を受診すべき？」の講演にはじまり、応急手当実技体験コーナーでは看護師指導の下多くの方が体験されていました。

ステージでは、中原スポーツクラブ員による和太鼓、一

武保育園児の演技、郷熊戦煌ジュグリッターショーがあり、全国で15台配備の水陸両用バギー車（八代消防）が展示されました。

はしご車搭乗、放水、煙体験等楽しく学べるコーナーの他、幼年消防クラブの救急・防災ポスターと小学生の習字の展示も行われました。また、ご当地ゆるキャラも子供たちとふれあいながら会場を盛り上げ、写真におさまっていました。

人吉下球磨消防組合 中央消防署 企画教養課 課長 倉田 茂昭



広島県 大雨災害募金

広島県で8月19日からの大雨により、広島市安佐南区及び安佐北地区を中心に大規模な土砂災害が発生し、多くの人的被害や住家被害が発生しております。

当院でも被災者支援を目的に院内で義援金を募り、募金総額116,035円が集まりました。お預かりした募金は日本財団 災害復興支援特別基金を通じて被災者の方々へお届けいたします。

総務企画課

日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会 人吉市で開催!!

平成27年11月20日、21日に人吉市で日本医療マネジメント学会第14回九州・山口連合大会が開催されます。

大会は、「次代につなぐコミュニティヘルスケア～今、われわれは地域のために何をするのか～」をテーマに、安心して暮らせる地域づくりのために、医療のみならず介護・福祉、教育、雇用、人口問題等も討論し、行政や住民の参加も合わせて、約1500名の参加を目標としております。

今回、初めて地方郡部の小規模都市での開催となり、学会場、交通、飲食、宿泊など不安で一杯ですが、これまでの学会と違った形で人吉のよさを引き出し、ご参加の皆さま全ての方に「田舎もいいよね」と言っていただけるように、心からおもてなしをしたいと考えております。



【名称】日本医療マネジメント学会第14回九州・山口連合大会

【会長】木村 正美

(独立行政法人地域医療機能推進機構
人吉医療センター 院長)

【会期】平成27年11月20日、11月21日

【会場】人吉市カルチャーパレス、人吉スポーツパレス

【プログラム】(予定)

基調講演、会長講演、特別講演、教育講演、市民公開講座、
教育セミナー、シンポジウム、
フリートークセッション、一般演題(口演)、一般演題(示
説)クリティカルパス展示、ランチョンセミナー

【連合大会事務局】

独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター
〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地
TEL:0966-22-2191 FAX:0966-24-2116

【連合大会運営事務局】

学会サポートセンター熊本(株式会社コンベンション
サポート九州)
〒860-0801 熊本市中央区安政8-16 村瀬海運ビル6F
TEL:096-212-3161 FAX:096-212-3163
E-mail:jhm14@higo.ne.jp

PET-CT 検査

当院でPET-CT検査を開始してから約8カ月が経過しました。人吉球磨地区のみならず他県からも多数ご依頼を頂き、先生方のご理解ご協力に感謝申し上げます。

PET-CT検査では、一度に全身の検査ができ、腫瘍の活動性の評価ならびにCTやMRIでは指摘しきれなかった予想外な部位への転移や重複癌を発見できるメリット

があります。これによりステージング等の診断がよりの確になり、手術前後の病期診断や再発診断に大きく役立っています。

また、健診の件数も増加傾向にあります。皆様も是非一度受けられてみてはいかがでしょうか？

今後も安心・安全な検査が行えるように、また的確な診断、治療へと繋げていけるような画像提供をしていきたいと思っています。

画像診断センター 診療放射線技師 恒松 明彦

平成25年12月～平成26年8月の症例件数

	平成25年 12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	総計
頭頸部癌		3	1	6	4	2	4	6	3	29
食道癌	3	2	2	2	1	3	2	2	2	19
肺癌	3	9	8	7	5	5	7	5	7	56
乳癌	6	7	5	4	3	2	6	5	9	47
胃癌	3	2			3	1	2	4	2	17
十二指腸癌						1		1		2
肝癌		1		1	1	1	1			5
胆嚢癌	1	2		2	2			2	2	11
膵臓癌	1			1		1	4	1	4	12
大腸癌		6	5	6	2	5	5	7	5	41
子宮・卵巣癌	1	1	3	1	5	2	1	1	1	16
前立腺癌	1	2		1	1					5
腎・膀胱癌		2	1	2						5
悪性リンパ腫	2	7	5	4		3	1	1	5	28
原発不明癌	2		2	4		2		2	2	14
皮膚癌				1					1	2
その他							1		1	2
PET 検診			1	6	1	2	5	5	4	24
総 計	23	44	33	48	28	30	39	42	48	335

高気圧酸素治療を開始して1年が経過

昨年7月より高気圧酸素治療を開始して1年が経過しました。

その治療状況をお知らせ致します。

○2013年7月～2014年6月30日

54症例 433回（入院334回、外来99回）

（救急的 116回、非救急的 300回、適応外17回）

突発性難聴 18名、腸閉塞 13名、

急性末梢血管障害 5名、

ガス壊疽・壊死性筋膜炎 4名、骨髄炎 4名

末梢循環不全による難治性の潰瘍 6名、

術後創傷 2名、蜂窩織炎 1名、閉塞動脈硬化症 1名

と多くの患者さまが治療をお受けになられました。



高気圧酸素治療は、補助療法として良い効果をもたらしており症例数も増えております。球磨・人吉では当院でしか行えない治療ですので、より多くの患者さまの一助となればと思っております。

臨床工学技士長 上村 慎作

職 場 体 験

8月27日・28日の2日間、当院で人吉市立第一中学校の生徒による職場体験が行われました。参加された生徒より感想文を頂きましたので掲載いたします。

8月27日・28日の2日間、人吉医療センターで職場体験を行いました。今までは、病気、ケガで病院を受診する側でしたが、今回は、医療の現場で働く方々をそれぞれの専門的な部署で見学させていただきました。

病院では、初めて見る検査の機材や、器具、そして治療も見学しました。機械類だけを見ると、何をやるものなんだろう、何だか怖いなぁと不安になるものもありましたが、みなさん一人一人の患者さんにとっても優しく、声かけをされており、自分だったり自分の家族だったら、安心して治療や検査を受けられるなと思いました。

「声かけ」とは、とても大事だとつくづく思いました。

医療現場の仕事がどのようなものか今回の職場体験を通して、明確となり、医療関係に興味と関心を持ちました。また、将来の職業の選択の参考になりました。

この2日間、人吉医療センターでご指導いただきありがとうございました。

2年 福江 佑輝

私は、8月27日、28日に、人吉医療センターに、職場体験として行きました。

1日目はとても緊張していて挨拶の声も小さく、返事もまともに出来ていなかったです。でも、担当者の方々をはじめ、職員の方々、患者さんが、優しく挨拶を返して下さいました。薬剤を取り扱う部屋や、MRIや、CTがある部屋など、私達はなかなか入れないような所まで見学させていただきました。1日目で一番印象に残ったことは、薬剤科で、塩を使い、薬剤はどうやって袋に包まれるかを知ったことです。患者さんの年齢や病状に合わせて薬の種類や量を調整しないといけないので、難しかったです。

2日目は、1日目の時より、緊張は溶けていて、リラックスして見学できました。内視鏡室では、胃カメラで患者さんの胃を見ました。胃を見るのは初めてで、画面に夢中になりました。

また、ICUでは、AEDの訓練をしたり、心臓マッサージを練習しました。AEDは思っていたより簡単に出来たけど、心臓マッサージは心臓に届くように5cmも押さないといけないのでとても大変でした。これを2分間なので、本当にやったらもっときついはずですが、でも、「よくできたね。」と担当者の方に言われて、嬉しかったです。

今回学んだ事は、最大限に活かせると思うので、しっかり活かせるようにがんばります。

2年 森田 真礼

耳より情報

当院の旧看護学校が、2015年秋 公開予定 映画『スクール・オブ・ナーシング』の撮影で使用されることが決定致しました。

撮影される映画は、看護学校や看護大学、看護学部といった「看護を学ぶ場、看護師を目指す学生が集う場」を舞台とした映画で、看護師のたまごたちの「成長の物語」を描いているものです。

今回は、当院も撮影現場の提供という形で撮影に協力することになっています。

映画 公式サイト：<http://nurse-movie.jp/>

臨床研修医挨拶



人吉の1年間の研修も早いことに今年の9月で終わりを迎えました。昨年の4月から医師としての生活を熊本大学医学部附属病院で始め、半年の研修を経てこちらでお世話になることとなったわけですが、赴任当初は大学病院で半年の研修期間を経てきたものの、向こうにいる間はまだ学生の延長のような感じで医師としての自覚や経験などにはまだまだ乏しかったと思います。大学時代に多くの先輩医師から「市中病院に行けば研修医でも一人前の医者と同じ扱いになるからな」と言われており、戦々恐々としながらこちらでの研修に赴いたのを覚えています。人吉での研修医としての生活は、聞いていたように既に学生ではなく、一人の医師としての役割を与えられるようなものでした。初めのうちは慣れないことも多く、ここの生活

をやっているか不安に思う日々でしたが、先輩医師やコメディカルスタッフの方々の多大な支えのおかげで徐々に仕事にも慣れていき、赴任時よりも格段に成長し大学病院へ帰ることができていると思っています。

業務以外にもビーチバレー大会や花見、職員旅行などイベントも多く、たくさんの方々と楽しい時間を過ごすことができました。そのような場で多くの方と仲良くなることができ、例えば私がある科で研修を行い、そこでの研修期間が終わった後もスタッフの方々から「増田先生、今度はいつうちに戻ってくるかね」と声をかけてもらい、とても嬉しく感じていました。

最後になりましたが、出来が悪いうえに性格も捻じ曲がった私を温かく受け入れてくれた皆様には心から感謝しております。ここでの研修で得たものを忘れず、今後も医師として精進していく所存です。本当にありがとうございました。

熊本大学臨床研修医 増田 翔太



熊本大学医学部附属病院での半年間の研修を終え、人吉にやって来て早1年。遂にこの地を離れるときがやってきました。

ここ人吉医療センターでの研修を始めて最初に感じたのは、やはり職員間の垣根の低さです。職種を問わず、病院職員の方々とほとんど顔見知りといった雰囲気です。研修ができるのは、楽しく幸せな経験でした。大学病院ではあまり直接的な関わりを持つ事の出来なかった臨床工学技士・理学療法士・管理栄養士・ソーシャルワーカーといった職種の方々と顔を合わせて仕事をする機会も多く、自分にはない視点からのアプローチにより患者さんの生活の質が実際に向上していく様子を目の当たりにする事ができました。それらの経験を通じ、頭では分かっていたつもりだったチーム医療の重要性、医療における医師の立ち位置や医師にできる事の限界を実感できた事が、最も大きな収穫であったように感じます。

一方で、地方中核病院という特性上、高齢や遠方といった理

由で受診行動に制約のある患者さんも多い中で、患者さん一人一人の生活状況を聞き取り、紹介先の選定や退院後の通院予定などを考える指導医の先生方の姿から、単なる診断と治療だけではない医師の仕事の奥深さを感じ、地域完結型医療・全人医療の一端を学ぶ事もできました。

また仕事以外の面でも、温泉に浸かったり、ピニールハウスで地鶏を食べたり、祭りで踊り狂ったりと充実した1年間を過ごす事ができました。しかし未だ制覇できていない温泉や店があるので、人吉に帰ってきているのを見掛けられた際にはまたよろしくお願い致します。

出身地でもあるこの人吉球磨を離れるのは少し寂しい気もしますが、10月からはこちらで学んだ事を最大限に活かし、再び大学病院での研修に励む所存です。1年間本当にお世話になりました。

熊本大学臨床研修医 西 雅人



昨年の10月から非常に早いものでもう1年間が過ぎ去り、私の人吉医療センターでの研修も終了の時期となってしまいました。

人吉での研修を一言で表すなら「楽しかった!!」というのが率直な気持です。指導熱心な先生方や心優しいスタッフの方々に恵まれ、非常に研修しやすい充実した1年間だったと思います。

その中で特に感じたのは外科手術の面白さです。もともと学生時代から手術に興味はあったのですが、実際外科系の研修の際に縫合やカメラなどの様々な外科手技を経験させていただいて、その思いはますます膨らんでいきました。今後の進路としても何らかの形で手術に携われるような診療科に属したいと考えています。

また、この1年間でお酒を飲めるようになったことも大きな

成長でした。球磨焼酎をはじめとした人吉のお酒は非常においしく、飲み会の機会も多く設けていただいたため、この1年間だけでも学生時代とは比べ物にならないほどのアルコールを摂取したと思います。今後は飲みすぎて周りに迷惑をかけないように注意していきたいと思っています。

来月からは再び熊本大病院に戻り、残り半年の研修を終えて1人の医者として働いていくのですが、この人吉での研修を礎に今後も医療に貢献していきたいと思っています。最後になりましたが、右も左も分からない未熟な研修医でしたが1年間優しく見守っていただき本当にありがとうございました。今後もしどこかでお会いする事があるかもしれませんが、その際はどうぞ宜しくお願いします。

熊本大学臨床研修医 木村 俊寛

地域医療研修 修了



熊本大学研修医2年目の野元大地です。8月の1ヶ月間、地域医療研修のため人吉医療センターで研修させて頂きました。人吉医療センターには大学5年生の時にも外科の臨床実習として1週間実習させて頂いたことがあり、今回3年ぶりに人吉に戻ってきました。

今回も学生の時と同様に外科を中心に研修させて頂きました。外科では、呼吸器・消化管・肝胆膵・血管など様々な領域の手術が行われており、また症例も多く、毎日様々な手術に入ることができました。先生方は、朝の病棟回診から始まり、カンファレンス、手術、そして合間を縫って検査、処置、救急外来対応と大変忙しい中、指導して頂きました。先生方を見ていて、改めて将来外科に進みたいという思いが強くなりました。

また救急当直にも入らせて頂きました。こちらの救急当直では、研修医が外病院および救急隊から連絡を受け、walk inから救急搬送まで初療に当たることができ、とても貴重な経験ができました。一緒に当直する上級医の先生からの指導もあり、各科オンコールの先生方もフットワークが軽く、夜間も非常に心強かったです。

また、各科先生方によるモーニングレクチャー、輪流勉強会、研修医による症例検討会など、研修医が勉強できる機会が多く与えられており非常にうらやましく思いました。

先生方、研修医にお世話になったのはもちろんですが、病棟・救外・手術室などで様々な場所でコメディカルの方々には助けをいただきました。また、住居のことや様々な手続きなどで事務の方々にも大変お世話になりました。1ヶ月間ありがとうございました。

熊本大学臨床研修医 野元 大地

笑って健康促進！
第104回 翔句会開催！

平成二十六年八月開催分の句をご紹介します。
どうぞ鑑賞下さい。

川柳句会「翔」平成二十六年八月分

- 踊り無理ラジオ体操ウロ覚え 比呂志
- まだ櫛に揃えてもらう髪がある 比呂志
- もやもやがあつさり言われ気が晴 佐津子
- 感動を連日くれた甲子園 佐津子
- 予報士の日替わりファッションのしみよ 緋紗
- あつさりと抱っこふられたひ孫から 緋紗
- 地蔵様赤いマフラもすてきです カヅ子
- さつぱりと焼酎のつまみはキュリもみ カヅ子
- 知り合いの夫婦喧嘩は物が飛ぶ レイ
- 出ない句にアツサリ諦めお茶にする レイ
- クマモンの絵柄の茶わん買い揃え 圭子
- 棚ぼたの夢はてしなく宝くじ 圭子
- 年とつてあつさり味が口に合う 智子
- 一人旅鈍行列車もいいもんだ 智子
- 朝おつゆ作り後評いらんこつ 保義
- にわか雨洗濯取り込み大わらわ 保義
- 可哀想出では採られる茗荷ん子 健二
- 年かさねそおつとそつと過去が見え 健二

次回も第四木曜日に本館二階図書室で開催致します。ご自由にご参加下さい。
投稿のみの参加もできます。院内設置の投稿箱にご投稿下さい。

ネットワークカンファレンス「プライマリ・ケアレクチャー」に当院も参加
インターネットを通じて学習 職員の学習の場広がる



札幌医科大学医学部地域医療総合医学講座（札幌医科大学附属病院総合診療科）が主催するネットワークカンファレンス「プライマリ・ケアレクチャー」に8月から当院も参加しています。

これは、どんな場所においても、インターネットを介してカンファレンスやレクチャーに参加し学習することができる取り組みで、毎週水・木曜朝7時半に実施されています。

インターネットを通じて、当地域のようなへき地においても全国の発表者の症例や講義を見聞きでき、チャットによって講師や参加者とやりとりができます。

当院では、研修医の医局に集まり、TVモニターで視聴しています。先日は、通信トラブルで中止になるのではと心配しましたが、松前町立松前病院木村院長のレクチャーを拝聴することができました。

総務企画課 谷口 純子

世界チャンプ 来院！

9月22日（月）第6代WBC女子世界ミニフライ級王者（初代WBC女子世界アトム級ユース王者）の黒木優子チャンピオンが、縁ある人吉に帰省、当院を表敬訪問しました。



9月の勉強会報告

9月1日（月）人吉・球磨地域NST研究会

「当院におけるペプタメンスタンダード使用の一例」
人吉医療センター 看護師 告川 咲月さん
「NST活動と臨床栄養の必要性について」
宮崎江南病院 院長 白尾 一定先生

9月11日（木）第77回 消化器カンファレンス

- 1.「当院における外傷性腹部臓器損傷症例の検討」
人吉医療センター 臨床研修医 堀川 学先生
- 2.「DIC、骨髄転移を来した胃癌の一例」
人吉医療センター 臨床研修医 片山 修浩先生

9月のフレッシュマンセミナー報告

- 9/ 4 木原 成基 「鹿児島のおススメ店」
- 9/11 志水 祐太 「映画 トランスフォーマー」
- 9/18 阿川 未佳 「テレメータからの波形がモニタに表示されない原因について」

